

■ 令和5年度の指導重点と評価

1 「自ら学び考える子(知)」について

(1)「秋津小 パワーアップ・スキル」

全ての教科等の学習において「秋津小パワーアップ・スキル」を活用し、「聞く・話す・読む・書く」について、低・中・高学年別に系統性を意識して指導するために、適時、共通理解を図る。特に、「聞く力」に重点を置くとともに、意図的に「話す」機会を多く設け、全教職員で指導にあたることによって、理解力・表現力の向上に努める。

(2)「家庭学習 とんぼスタディ」

「秋津小学校家庭学習 とんぼスタディ」の定着を図る。懇談会等で趣旨を説明し、自主学習の習慣がつかうよう保護者・児童の意識を高めていく。(資料)

○学カテストの結果がほとんどの学年で、国語・算数ともに全国平均値を上回る。しかし、昨年度と比較すると低下がみられる。また、ICTの活用を推進したが、学カテストには反映されていない点やタブレットを活用する教科に偏りがあることが課題として考えられる。若年層の授業力向上研修や、学力向上と結びつく、タブレットの活用を、計画的に進める必要がある。

(3)感染症対策に留意した学習

新型コロナウイルス感染症対策として習志野市教育委員会作成の「学校の新しい生活様式」を踏まえた教育活動の徹底を来年度も、感染状況等に応じて継続していきます。

また、学校行事については子供たちにとって良い学習の場となるように取り組んでいく。全てをコロナ前のように戻すのではなく、学習時間の確保し、学校、地域、保護者にとってよい教育活動となるように改善を図っていききたい。

2 「思いやりのある子(徳)」について

(1)「縦割り活動」の充実

20グループの異年齢集団「とんぼグループ」を作り、人と関わる力を育てていく。年間を通して、活動の場を設定し、思いやりや協力、自主・自立の心を育てていく。

(2)「あいさつ」の励行

「あきつ あいさつ ありがとう」を合言葉に掲げ、「自分から、気持ちよくあいさつできる」ことが身に付くよう指導を継続する。

(3)いじめ・不登校の未然防止・早期発見・早期解決

「学校生活アンケート」「いじめアンケート」を全教職員で共有し、教育相談を行うことによって、未然防止及び早期発見・早期解決に生かし、生徒指導の機能を生かした授業づくりに活用する。

3 「たくましい子(体)」について

(1)「サuntime(業間体育)」を通して、運動する機会の充実を図る。

(2)「秋津っ子マラソン」の取り組み方を見直し、奨励する。

(3)体育科研究(ボール運動)を通して、運動への意欲や技能を向上させる。

(4)体力向上研究を通して、児童の体力の向上、様々な運動の基礎的な技能を高める。